



株式会社丸山工務店

代表取締役社長

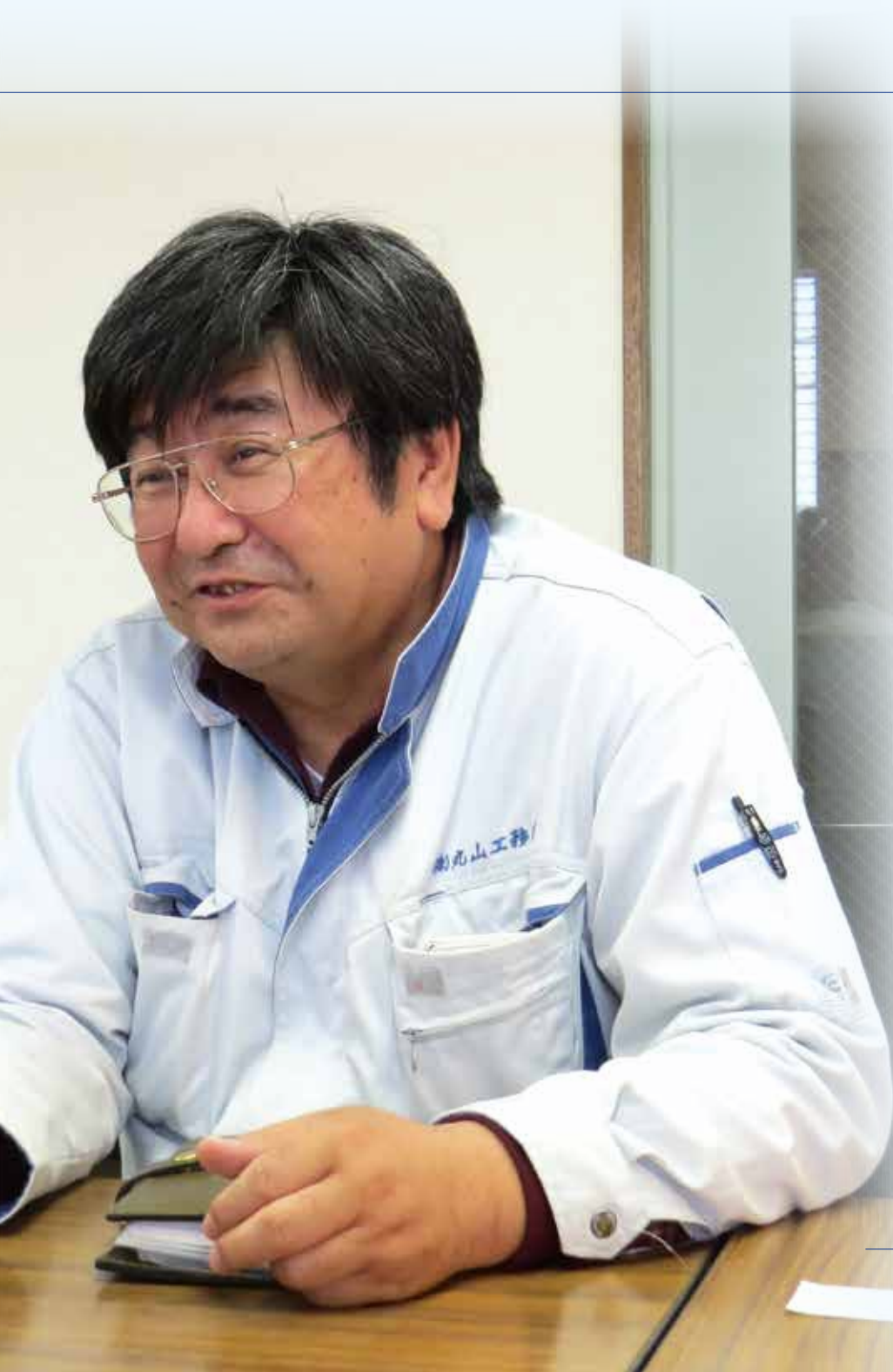
丸山正高氏

「本物の大工」を育て 「本物の家」を造る工務店

取材・構成

● 西原 勝洋

経済評論家



東京・世田谷区は日本でも有数の裕福な地域だ。よって大手住宅メーカーはここに最強の営業力を投入してくる。それでは地元組が苦戦するのは当然のこと——と思われるが、ますます意気盛んな地元工務店があった。大手ゼネコンの技術系社員まで「私の家はぜひお宅に建ててもらいたい」と頼みに来る。「ひ孫の代まで100年住める家づくり」をウリにする株式会社丸山工務店だ。

社員はみんな 棟梁になることを目指す

ある雑誌記者と一杯飲みながら懇談した時のことだ。何の話から、そうなったのかは記憶が定かでないが、言葉としての「大工」が話題になった。「《大工》という言葉は差別語だから使うべきではない」（記者）

「《大工》がなぜ差別語なのか」（私）
「だって、みんな、差別的に使っているでしょう。だから、差別語ですよ」（記者）

「差別的に使っているのは、あなただろう。自分の感覚で言葉狩りをすべきではない」（私）



丸山社長（前列右から3人目）と社員の皆さん

この話は平行線のまま終わってしまったが、その前に丸山工務店の丸山正高社長の話を聞いていたら、話の展開は全然違っていただった。

丸山工務店は、大工が大工としての技術を磨くことに喜びを感じて集まっている会社であり、所属する大工は大工であることに誇りを持ち、みんなが棟梁になることを目指している。

丸山社長は言う。

「建築関係の職人は、今はたくさんに細分化されています。一軒の家を建てるとなると、50種ぐらいの職人が入れ替わり立ち代わり入ってきます。しかし、昔は大工だけだったんです」

「大工の一番上に立つ棟梁は、大工の技術に優れているだけでなく、営業、設

計、見積もり、資材の購入、現場監督、検査もしたし、集金の仕事もしていたのです」

「やがて左官、鳶、設計士、板金……と、大工仕事の中の一部門が次々と専門化されていった。そして、長い歴史の中で見ればつい最近になってですが、自前の職人を抱えていない元請け会社や、施工監理の会社が多くなったのです」

「ですから、もとをたどればすべて大工。建設・土木の仕事のおおもとが大工なのです」

次々と専門化が進んだせいで、今日の大工が腕を振るう部門は狭くなった。

プレカット部材を使っても 違いが出る熟練大工の技

使う道具も《大工道具》というよりは「工具」になった。

木材も、昔なら大工が鋸で寸法を合わせ、鉋で削り、鑿で接合部分を



代表取締役社長 丸山正高 氏

くり抜いた。しかし、今は工場寸法通りに仕上げられた木材が届けられる。それを最新の工具で組み立てるだけなら、誰でもできそうな気がする。

ところが、大工の仕事は奥が深い。壁用にプレカットされた木材を壁面に張り付けていく仕事だけ見ても、腕の良い職人とそうでない職人とでは、何倍もスピードが違う。仕上がりの違うし、耐久度も違っている。最新の工具をどう使いこなすか、マニュアルにない裏技をどう習得し蓄えるかが、今日の大工の腕の要件と言える。

工場でのプレカットは、時にコンピュータへの入力ミスが起きる。ごくわずかの寸法の違いでも、熟練して眼力を鍛えた大工なら、すぐに入力ミスによる間違いに気付くという。丸山工務店は、そうした大工が、さらに腕を磨く職場といえる。

小規模な工務店なのに、社員が持つ公的な資格は、一級建築士（4名）、二級建築士（6名）、一級建築施工管理技士（3名）、二級建築施工管理技士（3名）、指定建設業管理技術者（8名）、増改築相談員（1名）、東京都木造住宅耐震診断技術者（6名）、世田谷区木造住宅耐震診断士（5名）、

▼ヒノキを使った1尺角(約30センチ)の大黒柱



長期住宅、耐用年数200年の建築基準で建てられた住宅。銘木で目詰りが良く、強度の高い材を構造躯体にしている

他の職人が惚れ込む仕事で顧客が付く

福祉住環境コーディネーター(2名)、二級建設業計理士(2名)、宅地建物取引主任者(1名)——という具合。社員1人が2つ以上の資格を持っているわけだ。

丸山工務店には営業担当がいない。社長以下、設計士も大工も「みんな

が営業部員兼務」というわけだが、実際には営業活動に打って出る前に、仕事飛び込んでくる幸運な日々が続いている。

ある時、地元・世田谷区の公共事業を入札で落として仕上げた。すると、その施設を見た大手ゼネコンの技術系社員が訪ねてきて、「御社の丁寧な仕上がりを見て驚いた。ぜひ、私の家も建ててほしい」と訪ねてきたのは典型的な例だ。

ちなみに、世田谷区の工事成績評定では、平成16年度以降、1位を5回も取っている。

下請けに入っていた職人が、自分に課せられた仕事の厳格さ、さらには棟梁の采配、それに従って働く大工たちの仕事ぶりに感動して、「家を建てるなら、丸山工務店に頼むのがいいですよ」と言ってくれ、それを聞いた人が「それなら」と頼みに来ることも多い。職人に惚れさせる仕

事が、次の顧客獲得に直結しているのだ。

もちろん、そんな質の高い仕事が一朝一夕でできるわけではない。

丸山家は6代前から新潟県三条で材木問屋を営みつつ、大工の棟梁も兼ねていた。そして、満州から帰国した先代は、昭和29年に東京・新木場で丸山工務店を設立、間もなく世田谷に移転した。

2代目社長の正高氏は、東海大学で建築を学んだ。数学が得意で、構造計算の部門で名高い設計会社に就職した。成績優秀でなければとても入れない会社だ。「数学は得意」と自信を持って入社したのだが、その会社で構造計算に取り組む先輩社員たちの能力は桁違いだった。その時、「プロとアマチュア」の絶対格差を知ったのだと言う。

それでも入社3年目には、何とかプロの端っこに近づいた。ところが、実家・丸山工務店では、まさに「プロ」だった専務が病に倒れ、父親から「丸山工務店を助けてくれ」と頼まれた。設計会社の社長からは「もう少し仕事を続けられれば、一人前に構造計算ができるようになる」と



50 年前の半纏。丸に「庄」の字は明治 35 年に創業した先々代・丸山庄蔵に由来している

言われたが、結局、丸山工務店に入ることを選んだ。

構造計算の分野で、プロとアマの絶対格差を実感したことが、丸山工務店の人材育成策、いわば「本物の大工づくり」に結び付いているのだらう。「ものづくり大学」からも人材を採用している。まさに、アマチュアの大工を、本物の大工に育て上げる道であり、本物の大工が造る住宅こそ、丸山工務店が生き残り、発展していく道でもある。

月に 1 度は施工過程の動画、仕上がり映像を社員全員で見て反省会を開くのも、良い慣行だ。

「腕に自信あり」の工務店の協業組合である「匠の会」にも加入している。

100 年住める家のための 10 か条

丸山工務店は「ひ孫の代まで住める 100 年住宅」をウリにしている。そのための 10 か条の原則を定めている。原則の最初に掲げられているのは「基礎はコンクリート強度を上げて造ること」だ。「鉄筋を増やしても基礎の寿命は延びない」との説明が付されている。構造計算の設計事務所にいた社長ならではの第 1 条なのだろう。

丸山工務店が造る住宅は、基礎のコンクリート柱が標準より 3 センチ太い。「3 センチは酸性雨を考慮した結果」と言う。酸性雨により、コンクリートは表面 3 センチがいずれ腐食してしまうからだ。軒を長めに取るよう勧めるのも、同じ理由からだ。

第 5 条が面白い。国産材の使用を挙げている。その理由は、《腐食菌が多い日本の森で育った木材は、腐食菌に对する免疫があり、多湿な日本では住宅用建材としては最も適している》ということだ。材木問屋をルートにする工務店らしいと思ったが、そうではなかった。腐食菌がない寒冷地の外材

を使ってみた結果、「客には勧められない」と判断したからだそう。

「隣家との位置関係や、季節ごとの太陽の位置を考慮すること」「部屋の通風は平面だけでなく、立体的に上下の重力換気を検討すること。地窓やハイサイ

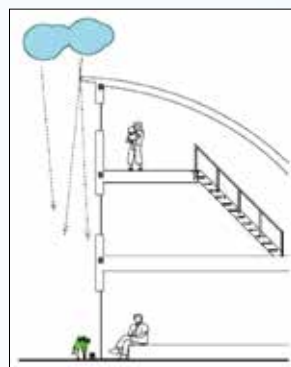
イドライトは良い例」といった条項もある。在来工法の優れた部分をきちんと守り、最新の技術・技法も逃さず取り入れていく姿勢にあふれている 10 か条だ。

ハウスメーカーは効率と利益を優先し、設計も施工もマニュアル第一だ。もちろん、それにより「標準域」は確保されるのだろうが、それ以上のものにはならない。そこに、本物の大工集団が活躍する領域が広がっている。

丸山社長はめったに背広など着ない。取材当日も作業服に安全靴のい

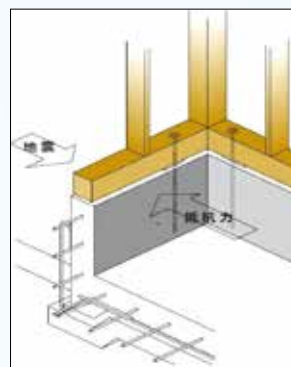
丸山工務店の「100 年持つ住宅」

(例 1)



屋根の先を出して外壁を守る
屋根の先端を 45cm 伸ばすだけで外壁は濡れにくくなり、劣化を遅くする。

(例 2)



基礎コンクリートの固さが超高層ビル並み
築 30 年も経つと鉄筋がさびてしまつて 100 年に 1 度の大地震で折れてしまうことも。これは鉄筋を守っているコンクリートの幅と固さが足りないから。

もののスタイルで、「大工の社長は常に現場を回らなくてははいけません」とと歯切れよく語った。
(にしはら かつひろ)

株式会社丸山工務店

代表取締役社長 丸山正高

創業 明治 35 年

設立 昭和 29 年

資本金 4800 万円

従業員 21 名

売上高 13 億円

事業内容 総合建築業、宅地建物取引業

本社 東京都世田谷区桜新町 2-14-12

電話 03-3420-0277 (代)

http://www.maruyamakounuten.co.jp
(東京都民銀行 世田谷支店会員)